

「世田谷区無電柱化推進計画（素案）」についての  
区民意見募集【実施結果】

## 1. 意見募集期間

平成31年2月1日（金）～平成31年2月22日（金）

## 2. 意見・提案の分類と件数（総数8人（意見数19件））

分 類	件 数
無電柱化の推進に関するもの	5件
無電柱化の進め方に関するもの	6件
無電柱化の計画路線に関するもの	3件
他施策との優先順位に関するもの	3件
無電柱化への懸念に関するもの	2件
総 数	8人 19件

## 3. 意見・提案の概要と区の考え方

番号	意見・提案の概要	区の考え方
<b>無電柱化の推進に関するもの</b>		
1	他区のある無電柱化事業が全国的に話題となったことがある。世田谷区からも積極的な発信が求められる。	無電柱化を推進していくために、広報や啓発活動の充実を図り、広く区民に無電柱化の意義や効果を発信していきます。
2	無電柱化に無関心が目立っていた世田谷区も、これを契機に積極的に推進する側に回るようお願いしたい。	区道の無電柱化をこれまで以上に推進していくため、本計画を着実に実行していきます。
3	住所地周辺は、蜘蛛の巣のような電線網に覆われているなど不快感が募る。海外、国内の事例を問わず、電柱がなく美しい景観を創出している都市がある。世田谷でも大いに無電柱化を頑張してほしい。	良好な都市景観の創出を目指し、さらに無電柱化を推進していきます。

（次ページへ続く）

番号	意見提案の概要	区の考え方
4	従来からある美しい並木道や、近くに公園があるような重点通りを選び、醜い景観が無電柱化によって美しく、道路は安全となり、まさに歩く憩いの場所に変わることを、多くの区民に実感してもらうことで、無電柱化を加速させてはどうか。	良好な都市景観を創出し、安全で快適な歩行空間を確保することにより、区民に「歩く憩いの場」を実感して頂けるように努めることで、これまで以上に無電柱化を推進していきます。
5	自宅前道路の電柱間隔はかなり長く、また電線の本数も多い為垂れ下がり、危険を感じています。美化・安全のため、是非進めてほしい。	都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図るため、これまで以上に無電柱化を推進していきます。
無電柱化の進め方に関するもの		
6	交通量が多いにも関わらず歩車分離出来ていない狭小道路を優先的に地中化すること。	安全で快適な歩行空間の確保という観点から、歩車分離出来ていない狭小道路もいくつか選定し、計画路線としています。
7	京王線高架化に伴うまちづくりに合わせて地中化を行うこと。	京王線高架化に伴う無電柱化については、周辺の街づくりの状況（新設・拡幅される道路等）や地元の気運等を勘案しながら、適切に対応していきます。
8	裏通りは敢えて電柱のまま残り、共同溝が水没や地割れ等で破壊された時のバイパスとして活用すること。	今後の施策の参考とさせていただきます。
9	無電柱化を遅らせる要因である長い工事期間を検証し、工期の短縮をゼロベースで見直した上で、無電柱化を推進してほしい。	工期を短くできる無電柱化の工法を採用することや、関連する様々な工事の調整を的確に行なうなど、可能な限り工期の縮減に努めながら、無電柱化を推進していきます。

(次ページへ続く)

番号	意見・提案の概要	区の考え方
10	<p>歩道の幅員が2.5m以上ある既存の区道は、積極的に無電柱化を推進してほしい。</p> <p>その中で優先順位をつける場合、世田谷区の顔となるような区役所周辺、駅周辺、豪徳寺など著名な寺社周辺、地域風景遺産に指定された箇所、風致地区などである。</p>	<p>今回の路線選定にあたっては、世田谷区の顔となるような路線や、主として「安全で快適な歩行空間の確保」の観点から駅周辺の道路や地域風景資産の周辺で「良好な都市景観の創出」に資する路線を計画路線としています。</p>
11	<p>世田谷区側は無電柱化されているが、隣接する自治体側は未整備ではよくない。その点に留意すること。</p>	<p>区が隣接する自治体との境界で無電柱化を行なう場合には、隣接する自治体と調整していきます。</p>
無電柱化の計画路線に関するもの		
12	<p>東京都などの補助金制度などがあるにもかかわらず、非常に志の低い計画であり残念である。</p> <p>特に本計画の期間は東京2020大会を跨ぐものであり、大会会場である馬事公苑から最寄りの5駅までのルートは全て無電柱化を図るような計画が出てくるものと期待していた。</p>	<p>東京2020大会会場である馬事公苑周辺については、けやき広場や馬事公苑北側の「五輪愛馬通り」が無電柱化されており、平成28年から平成30年にかけて東側の「馬事公苑通り」や西側の「用賀中町通り」で一部無電柱化を行なうなど、積極的に無電柱化を進めてきました。</p> <p>大会会場周辺に限らず、今後ともこれまで以上に無電柱化を進めていきます。</p>
13	<p>経堂の「農大通り」、千歳船橋駅前の「城山通り」など、駅を降りてすぐに電柱が溢れている姿は、世田谷区のイメージ的にも安全面でも非常にマイナスである。せめて東京2020大会の玄関口となる、最寄り駅前の無電柱化は実行してほしい。(計画に入れて欲しい)。</p>	<p>経堂駅や千歳船橋駅については、駅北側の無電柱化を進めてきました。</p> <p>農大通りのような比較的幅員の狭い道路における無電柱化には、地上機器の設置場所の確保など技術的な課題があり、今後の技術開発の動向やモデル路線での実績を踏まえる必要があると考えています。両路線の無電柱化は、計画見直し時の参考とさせていただきます。</p>

(次ページへ続く)

番号	意見提案の概要	区の考え方
14	芦花公園駅北側の商店街の道路は、歩行者としても運転手としてもいつも危険だと感じており、最優先で無電柱化を進めてほしい。	芦花公園駅北側の商店街のような歩道幅員が狭い道路における無電柱化には、地上機器の設置場所の確保など技術的な課題があり、今後、モデル路線での実績や、技術開発の動向を踏まえる必要があると考えています。当該路線の無電柱化は、計画見直し時の参考とさせていただきます。
区の他施策との優先順位に関するもの		
15	無電柱化より、公共施設の耐震対策が優先ではないか。	区道の無電柱化を推進していくとともに、公共施設の耐震対策など、その他の施策も推進していくことが必要と考えています。
16	良好な都市景観の創出よりも、まずは狭い通りの幅を少しでも広げることが大事である。	良好な都市景観の創出という観点から無電柱化を推進していくとともに、狭い道路を拡幅することにより安全な歩行空間の確保を図る事業など、その他の施策も推進していくことが必要と考えています。
17	メインの場所ばかりに見栄えを気にしてお金を掛けず、公園の古いままのトイレなどの施設を更新し、安全に暮らせることにもっとお金をかけるべきである。	道路の無電柱化を推進していくとともに、老朽化した公共施設の更新・安全対策など、その他の施策も計画的に実施していくことが必要と考えています。

番号	意見提案の概要	区のお考え方
無電柱化への懸念に関するもの		
18	<p>区内のほとんどの道路は、幅員が狭小でガードレールもない。そこで、電柱がなくなれば、車のスピードが増し、退避できる場所を失う。</p> <p>狭い道で交通量が多い場合は、電柱があるからこそ車から身を守る事ができる。</p>	<p>道路の無電柱化によって、自動車や自転車のスピードが増し、交通安全上の問題が予想される場合には、併せてその対策を講じていきます。</p>
19	<p>地震の多い日本において、地中にライフラインを設置することに問題はないか。</p>	<p>過去の地震災害において、地中線と架空線の被害率を比較・検証した結果、地中線の信頼性が確認されています。</p>

(以上)